

令和 8 年度 第 1 回
杉戸町総合振興審議会 会議録

期 日 令和 8 年 6 月 1 1 日（木）

場 所 杉戸町役場 第二庁舎 2 階第 1 ・第 2 会議室

会議録様式

審 議 会 名	令和 8 年度第 1 回杉戸町総合振興審議会
開 催 日 時	令和 8 年 6 月 1 1 日（木） 午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 0 5 分
開 催 場 所	杉戸町役場 第二庁舎 2 階第 1 ・ 第 2 会議室
会 議 の 議 題	（１）第 6 次杉戸町総合振興計画後期基本計画の概要 第 6 次杉戸町総合振興計画後期基本計画【冊子】を用 いて、令和 8 年度からスタートした計画概要を説明。 （２）第 5 次実施計画の事務事業評価について 事務事業評価の流れ、対象事業の概要を説明。
公開・非公開の別	☒ 公開　・　非公開　（公開の場合傍聴者数　２人）
	（非公開の場合理由）
出 席 委 員 氏 名	【出席委員】 木村三樹男、折原奈緒美、板橋昇、鈴木豊、岩浪一宏、染 谷美由紀、水野順子、中里圭介、菊地信一、佐々木誠、青 木恵理、新井晃、茂利浩幸 【欠席委員】 横井正樹、吉倉信広
審 議 の 概 要	
上記の議題について審議を行った。 詳細は別紙のとおり。	

審議概要

議事1「第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画の概要」

■事務局より冊子「【冊子】第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画」に基づき説明。

<説明概要>

1. 計画の構造

杉戸町総合振興計画は、次の3層で構成されるピラミッド型の体系です。

- ・基本構想（10年間）：町の長期的な指針を定め、未来像を描いた部分。
- ・基本計画（5年間）：基本構想を実現するための具体的な方向性を示す計画。前期と後期に分かれる。
- ・実施計画（1～3年間）：計画を実行するための具体的な事業内容を記載したもの。

後期基本計画は計画期間の折り返し地点に位置し、令和8年度から12年度までを対象としています。

2. 基本構想と未来像

「みんなで育てるまち すぎと - 自然とやさしさがあふれるまちへ」を将来像として設定。

未来像には、まちづくり全般の具体的な目標を示す8項目があり、子育て、教育、福祉、産業、都市基盤など多岐にわたる分野を網羅しています。

3. 計画内容の改善点

昨年度の審議会の意見を反映し、以下のような改善を実施

- ・各施策の担当課を明確に記載。
- ・部署横断的な連携の方向性をより意識して計画に反映。

4. リーディングプロジェクト（スギトゴトプロジェクト）

計画の核となる4つの横断的、重点的取組（スギトゴトプロジェクト）を設定した。

- ・みんなでにぎわいづくりプロジェクト：駅周辺整備、交流人口の拡大など。
- ・みんなでデジタルを使って便利にプロジェクト：デジタルトランスフォーメーション等。
- ・みんなで暮らしを守るプロジェクト：インフラ維持、空き家対策など。
- ・みんなで農業を育てるプロジェクト：農業振興や魅力向上。

庁内の各課や町民などの関係者が「当事者」意識を持ち、連携することで、杉戸町の将来像や未来像の実現を目指す。

5. 今後の進行

後期基本計画の策定をスタート地点とし、実際の事業は「実施計画」に基づいて具体化して進める。

審議会も計画の実施内容に対して評価を行い、そのフィードバックを今後の町政運営に反映する。

質疑応答

(佐々木委員)

リーディングプロジェクト「スギトゴトプロジェクト」の説明がすごく良いと感じました。部署間を超えた横断的な連携や、町民を含めた連携が重要だと思いますが、その連携が計画書にどのような形で表現・記載されているのでしょうか。

(事務局)

具体的な事業内容については実施計画に記載されるため、この基本計画書自体には全てを掲載しておりません。

ただ、例えば、計画書の49ページ みんなで「デジタルを使って便利に」プロジェクトでは、デジタル推進室と、町民課などの窓口の部署が庁内で連携して、町民の窓口負担を軽減するために、窓口支援システムの導入を目指して取り組んでいる状況にあります。

課を横断した取組が、中々できていない状況があるなかで、連携の必要性を計画書に明記して、今後やっていきたいという思いを込めております。

(会長)

先ほどの質問には、町役場の中だけではなく、町民との連携という意味合いもあったかと思いますが。

(事務局)

例えば、みんなで「農業を育てる」プロジェクトには、アグリパークの魅力向上という項目があり、杉戸農業高校と連携をしているところがございます。

今春に施設がリニューアルしましたが、それに向けて高校と一緒にパンの開発を行うなどして、連携を推進しているところもございます。

(佐々木委員)

今の説明で理解できました。しかし、そのような思いをこの場で伺ったとしても、計画書に記載されていなければ伝わらず、形として残りません。ぜひ、この会議だけにとどめず、連携が主体的に広がるよう今後も努力していただければと思います。

(茂利委員)

説明いただいた計画書の中で、例えば65ページの子育て支援の項目は、従来は子育て支援課が担当するという意味合いが強かったかと思います。昨年の意見を踏まえ、健康支援課や教育総務課も連携していくと明記されたことは良いことだと思います。皆さんが事前の打ち合わせ等を行った上で表記されていると思いますし、役割を意識付けする意味でも素晴らしい取り組みです。これを機に、他の課でも関連事案が出てきたら積極的に連携しようという動きが広がれば、全庁的なつながりになると思います。ぜひ今後もこの形での取り組みをお願いいたします。

(会長)

町役場の認識として、縦割りではなく横の連携を重視してほしいという意見ですね。

議事2「第5次実施計画の事務事業評価について」

■事務局より、資料1、2-1、2-2、2-3、資料3に基づき説明。

<説明概要>

1. 事務事業評価の目的（資料1）

行政内部だけでなく、住民の視点を取り入れ、まちづくりの透明性を高める。行政運営の改善に資する。

2. 評価の進め方（資料1）

評価は以下の3段階で実施する。

- (1) 第一次評価：担当課による自己評価。
- (2) 第二次評価：総合政策課が募集し、町長が評価。
- (3) 第三次評価：総合振興審議会で、専門的な視点から評価を行う。

最終的に審議会で出された評価を「答申書」として町長に提出。
答申書はその後、役場全体に共有され、予算編成や計画の改善に反映される。会議は7月に担当課からの詳細な説明があり、8月に評価をまとめて町長に提出する予定。

3. 事務事業評価対象事業

評価対象事業は、実施計画の中から選定された以下の3つの事業

(1) 安心して学べる環境づくり事業（資料2-1）

少人数支援室を設けて、不登校や学力に課題を抱える児童生徒を個別に支援する。欠席日数の減少や新規不登校出現率の抑制など明確な成果を上げている。

(2) 空き家対策事業（資料2-2）

空き家の適切管理を通じ、防犯・生活環境の保全、災害リスクの軽減。専門家と連携したサポート窓口や法的手段を活用して着実に空き家解消を進めている。

(3) 男女共同参画事業（資料2-3）

自分らしさを認め合い、誰もが輝ける社会を目指して意識啓発を実施。中学生向けのデートDV防止研修や小学生向けの冊子「しごとのこころ」で若年層にアプローチしている。

4. 評価の視点（資料1）

評価は以下の3つの視点を基準とする。

- 1 有効性：事業の成果が主要施策推進に結びついているか。
- 2 効率性：事業費や負担に対して適切な効果が得られているか。
- 3 妥当性：事業の内容や規模が町の現況に適しているか。

最終的に「順調」「概ね順調」「改善が必要」の総合評価を行う。

5. 事前質問シートについて

資料3「質問シート」に基づいて事前に質問を提出可能。
提出期限は6月17日。郵送・FAX・メール・電子申請などで受付。
質問がない場合は提出不要。

質疑応答

(佐々木委員)

資料1の1ページの最後の方に庁内全体に共有して改善を図るとありますが、答申書や会議での議論内容が公開されるのかを教えてください。

(事務局)

答申書や議論の内は公開されます。役場内でも共有がされますし、ホームページ等に議事録や会議資料、また審議会ですとめる答申書も公開されます。

(佐々木委員)

資料 2-1、2-2、2-3 に個別事業の事業番号が記載されていますが、この番号が何かを教えてください。総合振興計画との関係も含めてご説明いただけたらと思います。

(事務局)

これは、第 5 次実施計画の事業番号です。この実施計画は体系の中で一番下にあり、約 100 個の事業があります。また、未来像と主要施策の番号は、実は前期基本計画の番号になっているため、お手元にある後期基本計画とは一部ずれております。計画の連続性はあるんですが、説明が足りず申し訳ありません。

(佐々木委員)

関係性が見えないと他施策との関係などがわかりにくいので、今後補足資料等があれば準備いただけるとありがたいです。

(事務局)

どうすればわかりやすいのか検討したいと思います。

(佐々木委員)

スケジュールについて、お伺いしたいのですが、7 月と 8 月に会議の開催となっていますが、こういった内容をやるのかなどのスケジュールを教えてください。

(会長)

基本的には、7 月に、この事業の全部を評価します。8 月はその評価を取りまとめた上で、町長に答申というスケジュールになります。

(折原委員)

この議事とは離れてしまうが、先ほど佐々木委員がおっしゃった連携について、日本工業大学の学生さんがお年寄りの方と一緒にパソコン教室をすぎとピアで行っていて、それも連携だなと思ってお聞きしていました。

(岩浪委員)

今回の評価は、実施計画を対象とするということで、この実施計画の内容

は、この資料の個別評価調書で全て網羅されているのでしょうか。

(事務局)

基本的には実施計画に記載されている内容と同じ内容が評価調書にも記載されています。

ただ、唯一違う点がありまして、実施計画は7年度、8年度、9年度の3年間の実施内容を書かせていますが、評価にあたっては、前年1年度、つまり7年度の実績を評価するものになりますので、実施計画にある8年度と9年度の実施内容は載せてない状況になります。その点だけが違います。

(染谷委員)

自分が評価する際、何を見て判断すればよいのか教えてほしい。

(会長)

7月に担当課が説明に来ますので、そこで質疑応答を行い、評価を決めていく進め方になります。

(染谷委員)

達成状況を聞いて判断するということですね。理解しました。

(木村委員)

空き家対策について、自宅近くに所有者はいるが住んでいない建物があり、これは空き家の定義に入るのか確認したい。また、区長会への空き家調査の結果報告についても確認したい。

(会長)

そういった内容を、先ほどの質問用紙に書いていただいて、担当課から説明いただければと思います。

(板橋委員)

やはり私も空き家対策についてですが、調書の中身だけでは判断しにくい。杉戸町に空き家がどれくらいあるのか等の全体像を示す資料がないと、頑張っているかの判断ができない。次回は資料を示してほしい。

(会長)

7月の会議の際は、そういった資料をご用意いただくということでお願いします。

(事務局)

対応いたします。

(鈴木委員)

スギトゴトプロジェクトについて、産業振興課や市街地整備推進室が関わっていますが、これらは事前の調整や連携がなされているものなののでしょうか。計画では一緒にやるよう書かれていますが、お互いが共同で進めているか気になります。

(事務局)

事業により連携が図られているものもあれば、残念ながら連携が十分でない部分も正直あります。東武動物公園駅東口通り線は市街地整備推進室主体ですが、産業振興課との連携については、委員が期待されているほどには図られていないと感じております。

(会長)

事業の内容によっては状況が違うということですね。

(鈴木委員)

杉戸高校の生徒がごみを拾ったりなどの活動をやっていたりするのですが、やはりそれは学校教育課が主導なののでしょうか。

(事務局)

杉戸高校とは、市街地整備推進室との連携協定によるものです。

(鈴木委員)

その辺が連携ということなのでしょうね。

(水野委員)

ちょっと今日の議題とは離れてしまいましたが、先ほどスギトゴトプロジェクトで自分事として考えるという話があったと思います。そのときに、やはり一番上で指導していく杉戸町の職員が、やはり自分事として考えていくことができるためには、仕事が楽しくなければなかなか考えられないのではないかと感じています。

他の市町村で人口が減っているところでは、スマートシュリンク、賢い縮小という考え方にに基づき、進めていこうという市町村が多くなっていると思います。

杉戸町は、それほどまだ人口がすごく減ってきて困っているわけではなくて、言い方がおかしいかもしれませんが、中途半端なところだと思っています。

す。すると、役場や職員に対してこれもやってください、あれもやってくださいというふうに言うのではなくて、スマートシュリンクの中でサービスを低下させなくても、こんなことができるということを、私達の審議会がいろいろな提案ができればいいのかなと感じています。私達はその役ではないことは、わかっていますが、私達が少なくとも杉戸町の職員の方たちのいろいろなことを理解できる一番側にいるのではないかなと思っておりますので、あれもやってください、これもやってくださいの代表ではなくて、スマートシュリンクの中で何を私達が提案できるか、そしてその中でいろんなことを低下させないでやっていけるかということを少し考えていければいいのかなと思っております。

(会長)

貴重なご指摘ですので、我々も緊張感を持って対応します。。

(中里委員)

次回、担当課から詳しい話を聞く際、今回の質問書を出す段階で、7月の会議で使用する詳細資料のビジュアルなものなどがあると、議論が深まるし時間短縮にもなるのではないかと思います。

(会長)

事前資料の充実という貴重なご提言だと思いますので、よろしくお願いいたします。

(青木委員)

先ほどの水野委員がおっしゃったスマートシュリンクは、本当にすごく大事な視点だと思いました。多分、職員は御用聞きではないと思っていまして、やはり今、行政でも働き方改革が進んでいて、職員の皆さんの時間も限られたものですので、やはりどうすればより効率的に、そして地域の方々が幸福感を感じて、生活ができるかというのが、そのバランスがすごく難しいと思うんですけども、そこに対して私達も力を尽くせればと感じております。

(会長)

ありがとうございました。最後は決意表明をしていただいて、我々の総意ということでまとめたいと思います。次回の7月の会議にて、白熱した議論や、白熱した提案をしていただければ大変ありがたいと思います。

他にないようでしたら、以上で議事を終了します。ご協力ありがとうございました。